

会長あいさつ



会長 清水 良夫

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限がほとんどなくなり、計画した全てのイベントが無事盛大に開催できたことは良かったと思います。詳細につきましては、本広報誌の記事をご覧ください。

さて、私は3期6年間会長を務めさせていただき、今年度で任期満了となり退任いたします。新型コロナウイルス感染症で活動が制限され厳しい時期もありましたが、各委員の努力と地域の皆様のご理解とご協力をいただき活動を行うことができました。皆様に心より感謝申し上げます。

新たなニュースポーツ『スポーツ鬼ごっこ』、『ベースボール5』の普及への取り組みと障害当事者向けの新イベント『からだをうごかすぞう』の開催ができたことが成果です。今後の活動も大いに期待したいと思います。

来年度からは、新たなメンバーで新役員を選出し、今まで以上に積極的に活動していけると期待しております。これからもスポーツ推進委員会活動に対して地域の皆様のご理解とご協力、応援を引き続きよろしく願いいたします。

Special Topic

障害当事者の運動機会創出事業

からだをうごかすぞう

text:井幡 明男

10月21日(土)13時~16時、調布市総合体育館にて障害当事者の方に楽しみながら身体を動かしていただくことを目的にイベントを行いました。スポーツ推進委員会として初めての試みでしたが、参加者の安全と笑顔を最優先とし、「調布市障害者スポーツの振興における協議体」とも連携をしながら、調布市スポーツ協会、東京都障害者スポーツ協会、調和SHC倶楽部、東京都理学療法士協会などの協力のもと、1年以上の準備期間を経て実施しました。

広報にあたっては、障害福祉課を通じて市内福祉作業所をはじめとする福祉関係施設・団体へイベントちらしを配布し、事前申込不要で入退場自由としました。

イベント当日は、まず参加者は受付でチャレンジカードを受け取り会場に入ります。会場内には右の7つのミニゲーム・コーナーを準備し、各ゲーム・コーナーを終えた方にはチャレンジカードに貼るシールを配りました。

全ゲーム・コーナーを制覇する人、同じゲームを何度も楽しむ人、休憩スペースで少し休んだあとにまた運動する人などそれぞれのペースで参加していただき、約60人の障害当事者の方にご来場いただきました。

今後は内容をさらにブラッシュアップさせ、継続して開催していく予定です。



実施内容

- ・ペットボトル ぼうりんぐ
- ・ふわふわバレー
- ・トレジャーハンター (宝探し)
- ・ゴールへGO! (障害物競走)
- ・パラキラゲット
- ・ピラミッドづくり
- ・おカラダ 相談コーナー



9/9

広域地区別研修会

text:井幡 明男

毎年開催されている研修会ですが、令和5年度は調布市が幹事として9月9日（土）に調布市文化会館たづくり・くすのきホールで行いました。

「誰でもできる新しい運動～各地域のアイデアを盛り込んだ運動～」を発表テーマとし、新しい試みとして、発表は「動画」を作成し行うという形式にしました。これはペーパーレスや発表後に情報資産として活用できるという利点があります。

完成した動画は自治体によってドキュメンタリー風だったり、地域の風景を紹介しながらの発表だったり、コミカルな様子、真面目な様子と様々で自治体のカラーが表れており、視聴した参加者が楽しく情報を共有することができました。

調布市は1ページ目で紹介した「からだをうごかさずう」を誰でもできる運動と捉え、イベントのリハーサル風景を動画にまとめ発表しました。

発表後は講師としてお招きした筑波大学体育系准教授の澤江幸則氏に、専門とするアダプテッド・スポーツの視点からご講評をいただき、各自治体にとって様々な活動のヒントが得られたのではないかと考えます。

研修会後の情報交換会では、身体を使ったゲームも織り交ぜながら自治体の垣根を越えたコミュニケーションが図れたことも有意義でした。



からだをうごかさずう紹介動画
調布市公式YouTube



スポーツ推進委員の 出張ニュースポーツ！

令和5年度実績

各学校や施設・地域からの要望があった際には、スポーツ推進委員が直接お伺いし、ニュースポーツのルールや技術をレクチャーしています。

i ニュースポーツをやってみたい学校や施設の方は、地区担当のスポーツ推進委員またはスポーツ振興課までご相談ください。



6月25日	ドッチビー	若葉小
9月21日	ドッチビー	東京かたばみ会
9月25日	ボッチャ	飛田給小
9月27日	ドッチビー	第一小学童クラブ
2月10日	ボッチャ	第一小
2月19日	スポーツ鬼ごっこ	第二小



協力事業

- ・染地小地域・スポーツ&思い出、秋まつり
- ・調布市福祉まつり
- ・遊ing
- ・調布市障害者スポーツ体験会
- ・調布市民駅伝競走大会
- ・調布市学童ドッチビー大会 etc...



6
17,18

木島平村研修

text:川端 宏志

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、様々な行事が再び行われるようになり、調布市と姉妹都市である長野県木島平村のスポーツ推進委員の交流も再開できるようになりました。そんな中、6月17日(土)、18日(日)と木島平村に伺い交流を深めてまいりました。

1日目は、地元の小学生の参加を募り、現在調布市スポーツ推進委員会が普及に力を入れている「スポーツ鬼ごっこ」「ベースボール5」「モルック」を行い、木島平村の子どもたちと楽しく交流をすることができました。

2日目は村民スポーツフェスティバルに参加し、私はふらばーるバレーにエントリーしました。木島平村で盛んに行われているとのことで、調布チームも負けるものか!と戦ってまいりました。結果は・・・帰りのバスの都合で途中リタイヤとなってしまいましたが、いい汗をかきながら多くの交流を育むことができました。

スポーツ推進委員として初めての木島平村でしたが、現地の方々とスポーツを通じて共に汗をかき、励まし合いながら、そして楽しみながらとても良い交流ができました。

改めてスポーツの持つ素晴らしさを実感する研修旅行でした。



9
30

ニュースポーツ交流会

text:北郷 慶宏



9月30日(日)に、武蔵野の森総合スポーツプラザサブアリーナにて、大人を対象とした「ニュースポーツ交流会」を開催しました。今年度の交流会では、昨年度に続き、調布市スポーツ推進委員会が普及に力を入れているニュースポーツのなかから、「ふらばーるバレー」を大会形式で実施。また、今年度は市内各地域だけでなく、調布市の姉妹都市である木島平村を含めた、26チームが参加しました。

勝利を目指して熱戦が繰り広げられたコートや、笑顔でプレーするコートなど様々でしたが、皆さん本当に楽しそうにプレーをしており、ニュースポーツを通して参加者同士の交流が深まりました。

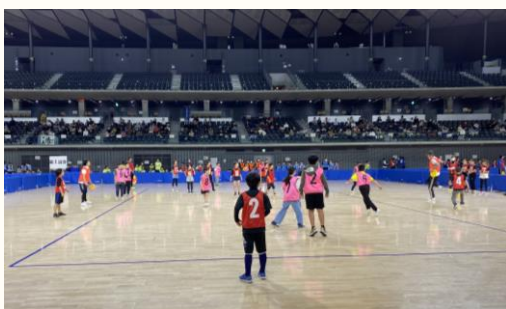
会場の熱が冷めやまぬなか、あっという間に時間が経ち閉会となりましたが、参加者からも「楽しかった」「来年もまた開催してほしい」などのお言葉をいただきました。

スポーツ推進委員も審判兼プレイヤーとして奮闘しました!

2
/
12

小学生ドッチビー大会

text:原 寿史



新型コロナウイルス感染症による2年のブランクの後、昨年度より再開され、本年度は全く制限を受けない形での開催ができ、会場内は大声援の大盛り上がりでした。

約700名の子どもたちが、午前・午後それぞれ4つのコートに分かれてリーグ戦を行い、熱い戦いが繰り広げられました。内野に一人でも多く残ったチームが勝ちとなるゲームですが、獲物を射るような鋭いシュートスローや、スライディングしながらの見事なキャッチなどが随所で見られ、昨年に比べ目を見張る上達ぶりでした。勝ったチームの喜ぶ姿、負けたチームの涙を流して悔しがる姿はとても印象的で、「スポーツって素晴らしいな」と改めて感じました。

最後に大会準備運営をともにしてくださいました実行委員の皆様、子どもたちの指導・誘導をしてくださいました監督・コーチの皆様、審判員をしてくださいましたボランティアの皆様、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



活動を発信しています！



ケーブルテレビ番組「テレビ広報ちょうふ」に出演するなど、積極的にスポーツ推進委員の活動を発信しています。

アーカイブ動画の視聴はこちら
調布市公式YouTube

東京都スポーツ推進協議会
功労者表彰

長きに渡り地域スポーツ振興にご尽力いただいている方を表彰する「功労者表彰」において、今年度調布市からは、市川 仁史委員が表彰されました。

Follow us !!

調布市のスポーツ情報のほか、スポーツ推進委員の活動もXにて発信中！
@ChofuSportsInfo

